

2019年度豊岡市障害者自立支援協議会運営会議からの報告について

1 ヘルパー研修について

豊岡市内の深刻なヘルパー不足や障害者の高齢化が進む中で、ヘルパーが、障害に関する知識と理解を深め、バーンアウトすることなく支援を行っていただくため、人材育成を目的とした研修会を開催している。昨年度は「障害の基礎的知識について」「精神障害者の地域生活支援」を行い今年度は7月に「発達障害について」、9月に「知的障害の支援について」を開催した。

「発達障害について」

1. 日 時：2019年7月12日（金）13：30～15：00
2. 場 所：豊岡市役所立野庁舎 多目的ホール
3. 内 容：自閉症スペクトラムを中心とした基礎知識について
4. 参加人数：39名

「知的障害の支援について」

1. 日 時：2019年9月18日（水）13：30～15：00
2. 場 所：豊岡市役所立野庁舎 多目的ホール
3. 内 容：知的障害者との関わり方について
4. 参加人数：42名

2 運営会議で論議した内容

部会や相談グループからの活動報告を集約し、下記の項目について、運営会議で議論をした。主な内容は下記のとおり。

(1) 地域課題

① 人材不足の問題

- ・ 制度、サービスは増えているが担い手がなく障害者を支えるのが困難
- ・ 人材が不足する中で、これからの障害者の生活支援が心配
- 主な意見：障害者による高齢者・障害者支援として、障害者をヘルパー、デイサービス等介護職員として雇用できないか。

② 住まいの問題

- ・ 障害者の一人暮らしは地域の理解、本人の力量などハードルが高い。
 - ・ グループホームは家賃補助があり安定するのでステップアップが難しい。
 - 主な意見：住まいの確保については、業者だけでなく、区長や民生委員などの関係者の協力を得る必要がある。
- 空き家を活用した支援方法（例：空き家をシェアハウスに活用できないか）

③ 就労の問題

- ・ 障害者の働く場がない。
 - 主な意見：短時間雇用等の多様な働き方の検討
- 就労継続支援事業所からのステップアップ

④ 移動の問題

- ・ 地域によっては事業所も送迎もなくサービス利用ができない。
 - 主な意見：障害者事業所や高齢者事業所等、多事業所が協力して送迎体制をとることで効率的にできないか。

⑤ 入浴の問題

- ・ 家の構造的な問題や制度の要件を満たさないため、入浴を希望しても家やデイサービスでお風呂に入れない。
 - 主な意見：共生型サービスを進めることで、障害者施設でも高齢者施設でも利用できる
ので選択肢が増えないか。
温泉施設をサービスの提供場所として活用できないか。

(2) その他

① 自立支援協議会 10 年の振り返り

- ・ 豊岡市に自立支援協議会が発足してから約 10 年。この 10 年の取組みを振り返り、今後協議会として地域課題にどのようにして取り組むか整理するため、10 年間の報告書の作成を検討中。